

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年1月31日

上場会社名 日本テクノ・ラボ株式会社
 コード番号 3849 URL <http://www.ntl.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 松村 泳成
 (氏名) 加藤 裕

上場取引所 札

TEL 03-5276-2810

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	909	22.6	91	223.5	92	211.9	54	241.3
23年3月期第3四半期	741	49.4	28	—	29	—	15	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	6,385.71	—
23年3月期第3四半期	1,807.98	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
24年3月期第3四半期	1,117	—	870	77.2	—	—	103,369.84	—
23年3月期	1,056	—	830	78.0	—	—	95,983.35	—

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 863百万円 23年3月期 823百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	500.00	500.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	1,000.00	1,000.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,041	10.2	78	96.2	80	92.2	47	118.6	5,620.26

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

1株当たり予想当期純利益(通期)は、予想期中平均株式数をもとに計算しています。

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	11,480 株	23年3月期	11,480 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	3,128 株	23年3月期	2,901 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	8,465 株	23年3月期3Q	8,760 株
----------	---------	----------	---------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する定性的情報	1
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10
(2) 研究開発費の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により停滞した企業の生産活動は、緩やかながらも回復局面に入りました。しかしながら、米国債の格下げ問題に始まる米国経済の低迷や欧州の財政不安等により海外経済は悪化しており、それに伴う円高進行も相まって、景気の先行きは不透明な状況にあります。

情報サービス産業におきましては、先行き不透明な状況下、ユーザ企業は、IT関連投資に慎重な姿勢を続けており、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社は、ニッチで技術力を要する市場をターゲットとし、その市場においてオンリーワンの製品を開発し、市場の要求に応じて品質を向上させ、その市場において高いシェアを獲得してまいりました。特に、産業用インクジェットプリンタ制御装置の開発やセキュアプリントシステム（製品名：SPSE）※の販売は好調で、大手企業や大手金融機関向けに納入することができました。

その結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は909,235千円（前年同期比22.6%増）、営業利益は91,455千円（前年同期比223.5%増）、経常利益は92,550千円（前年同期比211.9%増）、四半期純利益は54,057千円（前年同期比241.3%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（イメージング&プリンタコントローラ事業）

当セグメントにおきましては、製造企業等の生産ラインに組み込む大型オンデマンドインクジェットプリンタ制御装置を大手企業向けに納入したことにより増収増益となりました。また、前期以前に自動車関連部品の製造会社向けに試験開発した産業用インクジェットプリンタ装置が実用化されるなど、今後についても順調に推移しております。

その結果、売上高は314,119千円（前年同期比38.2%増）、利益は97,950千円（前年同期比67.1%増）となりました。

（ストレージソリューション事業）

当セグメントにおきましては、DVDやBlu-ray等の光メディアによるデータバックアップは、長期保存、耐久性及びオフライン管理による電力消費抑制等の面から需要はあり、主に小型かつ廉価のバックアップ装置であるDVD/BDマルチドライブは堅調に推移しましたが、大規模なストレージシステムについては、顧客企業による設備投資の抑制の影響により、受注に至らず、売上及び利益は減少いたしました。

その結果、売上高は35,402千円（前年同期比62.0%減）、利益は5,601千円（前年同期比44.8%減）となりました。

（セキュリティ事業）

当セグメントにおきましては、情報セキュリティ関連では、セキュアプリントシステム（製品名：SPSE）を大手金融機関や大手証券会社等に納入したことに加えて、薬局等の店舗向けコピー機用コインペンダーが予想を上回る数量を出荷することができ、増収増益となりました。

映像セキュリティ関連では、監視カメラシステムは震災の影響により防災システム等に需要があり引合いは増加しているものの、顧客による予算縮小やシステム規模の見直し等により、当社のIPカメラ統合監視システム（製品名：FIRE DIPPER）を使った大規模な監視システムの案件は前年同期に比べ苦戦しておりますが、当第3四半期累計期間において、鉄道、病院及び官公庁向けに納品しており、順調に推移しております。

その結果、売上高は455,658千円(前年同期比35.4%増)、利益は73,248千円(前年同期比40.8%増)となりました。

(その他)

受託開発事業及び保守サービス事業においては、受託開発案件やSPSEの保守契約等が増加したことにより、売上及び利益が増加いたしました。

その結果、売上高は104,056千円(前年同期比23.6%増)、利益は11,608千円(前年同期比85.6%増)となりました。

※セキュアプリントシステムとは、非接触ICカードを使用し、プリンタやデジタル複合機のプリント出力時に、紙文書からの機密情報漏洩を抑制するソフトウェア。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状態

当第3四半期会計期間末における資産、負債及び純資産の状態は以下のとおりです。

(流動資産)

当第3四半期会計期間末の流動資産合計は826,113千円と前事業年度末に比べて91,716千円増加しました。主な要因は、売上債権の回収等により現金及び預金が161,025千円、短期貸付金が6,000千円増加しましたが、受取手形及び売掛金が21,177千円、仕掛品が30,079千円、前渡金が20,265千円減少したこと等によるものです。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末の固定資産合計は291,770千円と前事業年度末に比べて29,912千円減少しました。減少した主な要因は、保険積立金が14,841千円増加しましたが、ソフトウェアが33,565千円減少したこと等によるものです。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末の流動負債合計は174,005千円と前事業年度末に比べて17,329千円増加しました。増加した主な要因は、未払金が8,400千円、未払法人税等が33,548千円増加しましたが、買掛金が24,733千円減少したこと等によるものです。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末の固定負債合計は73,630千円と前事業年度末に比べて4,710千円増加しました。増加した主な要因は、役員退職慰労引当金が4,717千円増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は870,248千円と前事業年度末に比べて39,763千円増加しました。増加した主な要因は、四半期純利益の計上等により利益剰余金が49,767千円、自己株式の取得により自己株式が9,727千円増加したこと等によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

産業用インクジェットプリンタ制御装置、SPSEの大型案件及び薬局等の店舗向けコピー機用コインペーダーの販売が予想を上回ったことにより、当第3四半期累計期間には増収増益となりましたが、通期の業績につきましては、欧州の経済不安やそれに伴う円の長期高止まりによる国内経済不安等により、弊社取引先にもその影響が波及してくる懸念があるなど、先行きが不透明な状況が続くと予想されるた

め、現時点におきましては、平成23年10月18日発表の予想数値に変更はございません。配当につきましても、前回発表から変更はございません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

有形固定資産減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用しており、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

②特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	382,263	543,288
受取手形及び売掛金	224,504	203,327
商品及び製品	33,014	26,269
仕掛品	54,994	24,914
前渡金	20,265	—
前払費用	17,131	13,365
繰延税金資産	2,282	5,689
短期貸付金	—	6,000
その他	200	3,497
貸倒引当金	△260	△240
流動資産合計	734,397	826,113
固定資産		
有形固定資産		
建物	34,376	34,376
減価償却累計額	△21,552	△22,615
建物(純額)	12,823	11,760
車両運搬具	10,039	10,039
減価償却累計額	△1,395	△4,101
車両運搬具(純額)	8,643	5,938
工具、器具及び備品	33,512	34,854
減価償却累計額	△28,372	△30,529
工具、器具及び備品(純額)	5,139	4,324
土地	13,640	13,640
有形固定資産合計	40,247	35,664
無形固定資産		
特許権	1,718	1,587
商標権	1,195	870
電話加入権	1,569	1,569
ソフトウェア	40,710	7,145
無形固定資産合計	45,193	11,171
投資その他の資産		
投資有価証券	897	650
出資金	10	10
長期貸付金	6,000	—
差入保証金	45,369	45,467
保険積立金	176,844	191,686
その他	7,120	7,120
投資その他の資産合計	236,241	244,934
固定資産合計	321,682	291,770
資産合計	1,056,080	1,117,884

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	98,633	73,899
未払金	5,246	13,647
未払費用	12,494	16,421
未払法人税等	8,825	42,373
前受金	29,027	21,387
預り金	2,343	5,050
受注損失引当金	—	1,140
その他	105	85
流動負債合計	156,676	174,005
固定負債		
繰延税金負債	154	147
役員退職慰労引当金	68,765	73,482
固定負債合計	68,919	73,630
負債合計	225,596	247,635
純資産の部		
株主資本		
資本金	401,200	401,200
資本剰余金	395,700	395,700
利益剰余金	257,156	306,924
自己株式	△230,992	△240,720
株主資本合計	823,063	863,103
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	377	241
評価・換算差額等合計	377	241
新株予約権	7,042	6,903
純資産合計	830,484	870,248
負債純資産合計	1,056,080	1,117,884

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	741,349	909,235
売上原価	446,971	553,437
売上総利益	294,377	355,798
販売費及び一般管理費	266,110	264,343
営業利益	28,267	91,455
営業外収益		
受取利息	301	298
保険事務手数料	675	699
保険返戻金	579	—
その他	139	206
営業外収益合計	1,696	1,204
営業外費用		
支払手数料	220	109
為替差損	69	—
営業外費用合計	289	109
経常利益	29,673	92,550
特別利益		
新株予約権戻入益	1,092	139
特別利益合計	1,092	139
特別損失		
固定資産除却損	2,286	86
特別損失合計	2,286	86
税引前四半期純利益	28,480	92,603
法人税、住民税及び事業税	1,622	41,848
法人税等調整額	11,019	△3,302
法人税等合計	12,642	38,546
四半期純利益	15,837	54,057

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	イメージング& プリンタコント ローラ事業	ストレージソリ ューション事業	セキュリティ 事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	227,260	93,265	336,617	657,144	84,205	741,349
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	227,260	93,265	336,617	657,144	84,205	741,349
セグメント利益	58,601	10,143	52,021	120,765	6,254	127,020

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託開発事業及び保守サービス事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差額調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	120,765
「その他」区分の利益	6,254
全社費用(注)	△98,752
四半期損益計算書の営業利益	28,267

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	イメージング& プリンタコント ローラ事業	ストレージソリ ューション事業	セキュリティ 事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	314,119	35,402	455,658	805,179	104,056	909,235
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	314,119	35,402	455,658	805,179	104,056	909,235
セグメント利益	97,950	5,601	73,248	176,801	11,608	188,409

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託開発事業及び保守サービス事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	176,801
「その他」区分の利益	11,608
全社費用(注)	△96,954
四半期損益計算書の営業利益	91,455

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①受注状況

当第3四半期累計期間の受注状況をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)			
	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
イメージング&プリンタコントローラ事業	165,405	41.0	159,137	57.2
ストレージソリューション事業	34,341	41.8	3,891	37.4
セキュリティ事業	380,517	161.7	186,543	981.8
その他	106,754	134.5	46,311	102.4
合計	687,017	85.8	395,882	112.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②販売実績

当第3四半期累計期間の販売実績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	
	売上高(千円)	前年同期比(%)
イメージング&プリンタコントローラ事業	314,119	138.2
ストレージソリューション事業	35,402	38.0
セキュリティ事業	455,658	135.4
その他	104,056	123.6
合計	909,235	122.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 研究開発費の状況

当第3四半期累計期間における当社の研究開発費の総額は、58,918千円（前年同期比8.1%減）となりました。その内容は、主に、SPSEの機能拡充及びFIRE DIPPERのスマートフォン対応等に関する研究開発活動であります。